

県立青少年教育施設 におけるプログラム



県立青少年教育施設は、豊かな自然環境を背景に、利用者のニーズに合わせたさまざまな自然体験活動プログラムを準備しています。特に、各教科や学校行事、さらに「総合的な学習の時間」などで活用できる環境学習プログラムを準備しています。

県立青少年教育施設におけるプログラムの特徴

- ①豊かな自然環境の中での体験的な環境学習が可能です。
- ②環境学習の導入の時間や、課題設定の時間、また課題の追究の時間など、さまざまな場面で施設利用が可能です。
- ③集団宿泊学習や課題別グループ学習、異年齢集団による学習など、さまざまな学習形態が可能です。
- ④自然の家の専門職員のほか、多様な活動をサポートしてくれる指導者やボランティアの方々との連携を図っています。

なお、施設を利用される場合、次のような点に留意されるとよいでしょう。

- ①プログラムのねらいに関しては、各施設にある資料を参考にして、活動のねらいを十分に吟味することが必要です。
- ②プログラムの企画に関しては、利用団体指導者と施設職員がともに行うことが望ましいので、テーマに即した活用方法や計画づくり、場の設定などについて、事前に相談されるとよいでしょう。
- ③プログラムの実施に当たっては、利用団体指導者と施設職員が協力・分担して子どもたちの支援に当たるようにするとよいでしょう。

県立青少年教育施設におけるプログラム 目次

高館山ハイキング（芳賀青年の家）	254
楽しい「木工クラフト」（芳賀青年の家）	256
ネイチャービンゴ（太平少年自然の家）	258
自然観察ゲーム（太平少年自然の家）	261
ビーチコーミングをしよう（とちぎ海浜自然の家）	264
スノーシューハイキング（なす高原自然の家）	268

《県立青少年教育施設における環境学習プログラム例》

施 設 名	プログラム例
●芳賀青年の家● 〒321-4217 益子町益子 4470 Tel:0285-72-2273 Fax:0285-72-7343 E-mail:haga-seinen@pref.tochigi.lg.jp 	・高館山ハイキング ・楽しい「木工クラフト」 ・植物観察（青年の家周辺） ・野鳥観察（青年の家周辺） ・ウォークラリー（3コース有り）
●太平少年自然の家● 〒328-0054 栃木市平井町 638 Tel:0282-24-8551 Fax:0282-24-8569 E-mail:ohira-syounen@pref.tochigi.lg.jp 	・ハイキング ・ウォークラリー ・ネイチャービンゴ ・自然観察ゲーム ・ナイトハイキング ・スターウォッチング ・日の出観望 ・たき火 ・小枝のマスコット ・バードコール
●とちぎ海浜自然の家● 〒311-1412 茨城県鉾田市玉田 336-2 Tel:0291-37-4004 Fax:0291-37-4008 HP:http://homepage3.nifty.com/tochigikaihin/ 	・砂浜での活動 （砂浜活動、砂の造形、塩づくり、砂浜の生物観察、投げ釣り、ビーチコーミング、海岸散歩） ・野外調理 ・海浜オリエンテーリング、海浜ウォークラリー ・かくれ家づくり ・星の観察
●なす高原自然の家● 〒325-0301 那須町湯本 157 Tel:0287-76-6240 Fax:0287-76-6241 E-mail:z-kodomo03-1@diary.ocn.ne.jp 	・登山 ・ハイキング ・自然体験ゲーム ・自然観察 ・那須平成の森自然体験（学習）プログラム ・木のクラフト ・スノーシューハイキング

《芳賀青年の家のプログラム》

高館山ハイキング

時 期 通年,いつでも

時 間 4～5時間

場 所 高館山及び益子町周辺

○「栃木百名山」にも選ばれた益子町を代表する山である、高館山をハイキングしながら、春の自然を観察したり西明寺の文化財を見学したりする。

ねらい

- ・身近な自然や文化財に関心をもち、親しもうとする態度を育てる。
- ・林や森の情景、自然の産物の美しさや不思議さに対する豊かな感性を育てる。
- ・環境保全のためにどのような実践的な行動をとるべきか等について考え、行動できる態度を育てる。

自
然



活動の内容

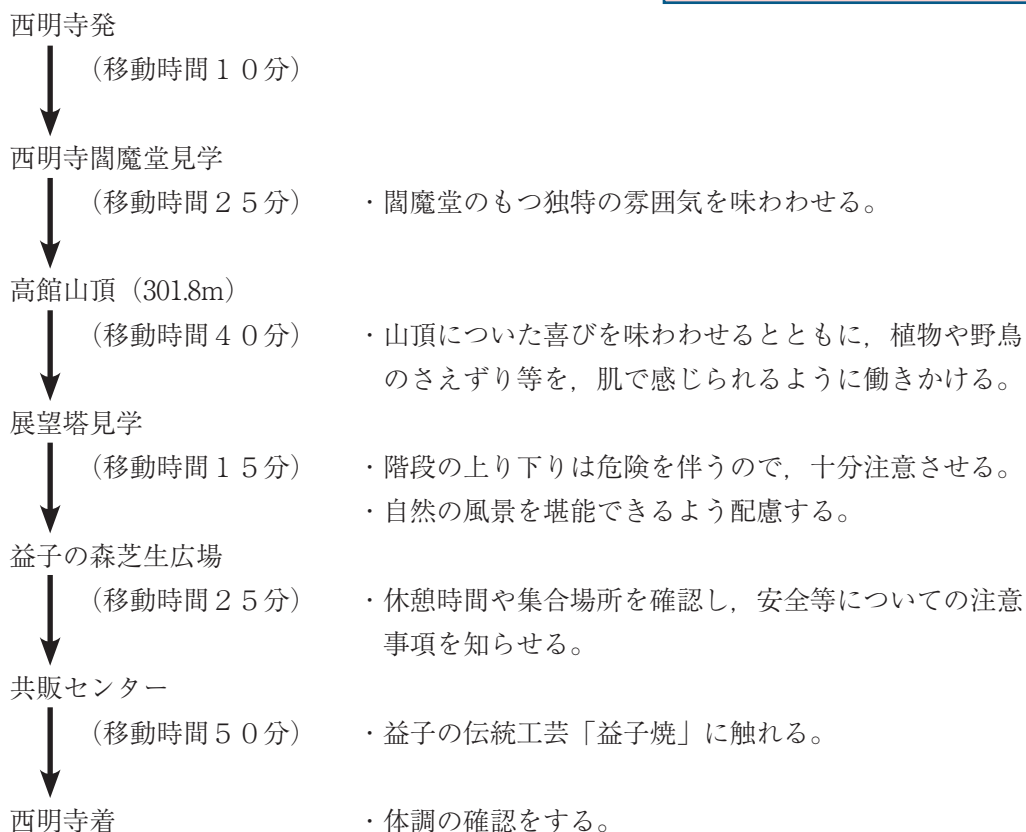
○ハイキングをして、自然観察や文化財の見学をする。

- ・各自、出発前の体調の状態をしっかりと確認する。
- ・忘れ物がないよう留意する。

準備するもの

- ・歩きやすい服装や運動靴
- ・カップ、タオル、ティッシュ等
- ・弁当 ・飲み物

【行程】



活用ガイド

○活動の様子



①西明寺では、本堂や閻魔堂・三重の塔を見学する。



②高館山の山頂を目指し、途中植物観察や野鳥のさえずりに耳を傾ける。



③展望塔から益子町のまち並みや雄大な大自然が一望できる。



④益子の森芝生広場では、昼食をとるなどして十分な休憩をとる。



⑤共販センターでは、じっくりと「益子焼」に触れる。



◎この活動では、林や森等の自然を直接肌で感じ取ることができると同時に、益子の町も歩くコースなので、「西明寺」等の文化財や「益子焼」等の特産物にも触れることができる。

《芳賀青年の家のプログラム》

楽しい「木エクラフト」

時 期 通年

時 間 2～4時間

場 所 林・広場・体育館など

- 施設近辺の林や森の中に入り、作り上げたいクラフトを想像しながら、必要な材料（小枝、木の葉、木の実など）を集める。
- 集めた材料をもとに創作活動を行う。

ねらい

- ・身近な自然に積極的に触れようとする態度を育てる。
- ・林や森の中の情景，自然の産物の美しさや不思議さに対する豊かな感性を育てる。

活動の内容

- (1) 材料収集活動に関する諸注意を聞く。
 - ・林や森の中に入るので，最初に危険回避のための説明を聞く。
 - 特に，蜂やヘビ等の危険な生物に対して十分留意する。
- (2) 林や森に入り，クラフト活動に必要な自然の産物を収集する。
 - ・小枝，木の葉，木の実等を集める。
 - ・自然の雰囲気味わう。
- (3) 創作に必要な道具の準備をする。
- (4) 創作活動に関する注意を聞き，活動をする。
 - ・各人の思いや願いを大切にする。
 - ・活動場所や道具の使い方を説明し，安全に十分留意する。
 - ・ホットボンドは熱くなるので，火傷に注意する。
 - ・ノコギリの使い方に注意する。
 - ・可能な限り十分な創作時間を確保する。

準備するもの

- ・かごやビニール袋
- ・ブルーシート ・ノコギリ
- ・ホットボンド ・画用紙
- ・ペン（黒・白）等
- ・長袖，長ズボン，帽子等



- (5) お互いの作品を鑑賞する。
 - ・作品の素晴らしい箇所を見つけるようにする。
- (6) 後片付けをする。
 - ・最後までしっかりと片付ける。



自
然



活用ガイド

○活動の様子



①安全には十分注意して，クラフトの材料を集める。



②集めた物を分類したり，使用する道具の準備をしたりする。



③まずは，思い思いの形に成形していく。(ノコギリ等使用)



④ホットボンドを使用して，材料を接着する。(火傷注意)



葉っぱや小枝を画用紙や色画用紙に貼り付けて，マジックペン等を用いて描き込みを入れてみても，楽しい作品になる。



左の作品では，修正ペンを使って，ドングリを動物の形に変身させている。

◎この活動は，大げさな準備等の必要がない。気軽に楽しめると同時に，林や森の中に入ることで，肌で自然を感じ取ることができる。また，鑑賞会等を実施することにより，お互いの良い点や優れた点も発見できるかもしれない。

《太平少年自然の家のプログラム》

ネイチャービンゴ

時 期 春～秋

時 間 2～3時間

場 所 野山、校庭など

○ビンゴカードにある各コマの自然物を探し、見つけたものはグループ全員で観察してから○をつけ、コマの指示を記録する。

ねらい

- ・さまざまな感覚を使って、自然を観察する力を高める。

自
然



活動の内容

(1) ねらいと方法を確認する。(10分)

- ・グループ活動でも、カードは1人1枚がよい。
- ・説明は活動場所で行うと効果的である。

(2) ゲームをする。(100分)

スタート → 活動 → 集合

- ・集合時刻と場所を決めておく。
- ・一斉スタートでよいが、活動場所と人数（グループ数）によって交通整理が必要なら、時間差をつけてスタートさせる。
- ・動植物の採取は、最小限にとどめる。
- ・指導者は要所で必要に応じて、アドバイスや安全指導する。

(3) 活動を振り返る。(20分)

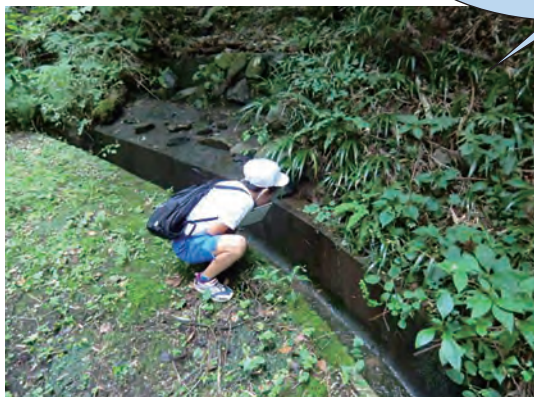
- ・注意を払わなければ見逃してしまう自然に目をとめて、新しい気付きを共有する。

準備するもの

- ・ビンゴカード ・地図 ・鉛筆
- ・ゼッケン ・植物図鑑
- ・昆虫図鑑 ・虫眼鏡 ・双眼鏡
- ・板ばさみ

活用ガイド

○活動の様子



こんなところから、
水の音がするよ。



よく見ると不思議
なものがたくさん
あるね。

○注意点

- ・五感をフルに生かすようにする。
- ・振り返りは、活動の場所で行う。可能であれば、見つけたものを全員で確認する。
- ・持ち帰りは最小限度とし、大切に扱うようにする。

ネイチャービンゴ [春～夏編]

名前

さあ、自然の宝物をさがしに出かけよう！ 見つけたら○をつけましょう。



持ち帰りましょう。
持ち帰れないものは、メモしてね



裏にスケッチしましょう。



声や音を()の中に
書きましょう。

 ふわふわ・ふかふかのもの 	 鳥の声 1 	 ヘビヤトカゲ ミミズ 	 コケ 	 ツルやツタ
 足あと (はったあと) 	 てのひら よい大きな葉 	 みきがたての もようの木 	 水の音 	 虫
 いいにおい 	 木の葉の そよぐ音 	 季節が 感じられる物 (絵か言葉で) 	 白い花 	 両うでで かかえきれ ない木
 鳥の声 2 	 黄色の花 	 クモのす 	 さわると いたそむな物 	 木の赤ちゃん
 食べた あと 	 みきが横の もようの木 	 がた ハート型のもの 	 実やたね 	 さわると つるつるの もの

ネイチャービンゴ [秋 編]

名前

さあ、自然の宝物をさがしに出かけよう！ 見つけたら○をつけましょう。



持ち帰りましょう。
持ち帰れないものは、メモしてね。



裏にスケッチしましょう。



声や音を()の中に
書きましょう。

赤葉	鳥の声 ()	キノコ	ハート型のもの がた	ツルやツタ
ふかふか、 ふわふわの もの	てのひら より大きな葉	みきがたての もようの木	水の音 ()	虫
虫の音 鳴き声 ()	木の葉の そよぐ音	季節が 感じられる物 (絵か言葉で)	白い花	雨うでで かかえきれ ない味
鳥の声 ()	黄色の花	クモのす	さわると いたそむき物	黄色い葉
食べた あと	みきが横の もようの木	木の実や 草の実	むらさき色の もの	さわると つるつるの もの

自然



《太平少年自然の家のプログラム》

自然観察ゲーム

時 期 春～秋

時 間 2～3時間

場 所 太平山

○自然観察ゲームのコース図に従い、コース課題や全体課題を解きながら歩く。



ねらい

- ・さまざまな感覚を使って、自然を観察する力を高める。

活動の内容

(1) ねらいと方法を確認する。

- ・グループの目安人数4～8人（6人以下が活動しやすい。）
- ・単にコース課題を解くだけでなく、自然の中から新しい発見ができるように促す。

(2) ゲームをする。

スタート → 活動 → ゴール

- ・交通整理のため1～3分間隔で1グループずつスタートさせる。
- ・活動時間は目安なので、時間オーバーを厳密にチェックする必要はない。
- ・動植物の採取は、最小限にとどめる。
- ・指導者はコース課題を設置・回収する。また、要所で安全指導する。（六角堂・随神門など）

(3) 活動を振り返る。

- ・注意を払わなければ見逃してしまう自然に目をとめて、新しい気づきを共有させる。

準備するもの

- ・自然観察ゲームのコース図
- ・表示用課題カード
- ・記録用紙 ・鉛筆 ・ゼッケン
- ・説明用TPシート ・板ばさみ
- ・植物図鑑 ・昆虫図鑑
- ・虫眼鏡 ・双眼鏡

活用ガイド

○活動の様子



この植物は、
何の仲間かな？



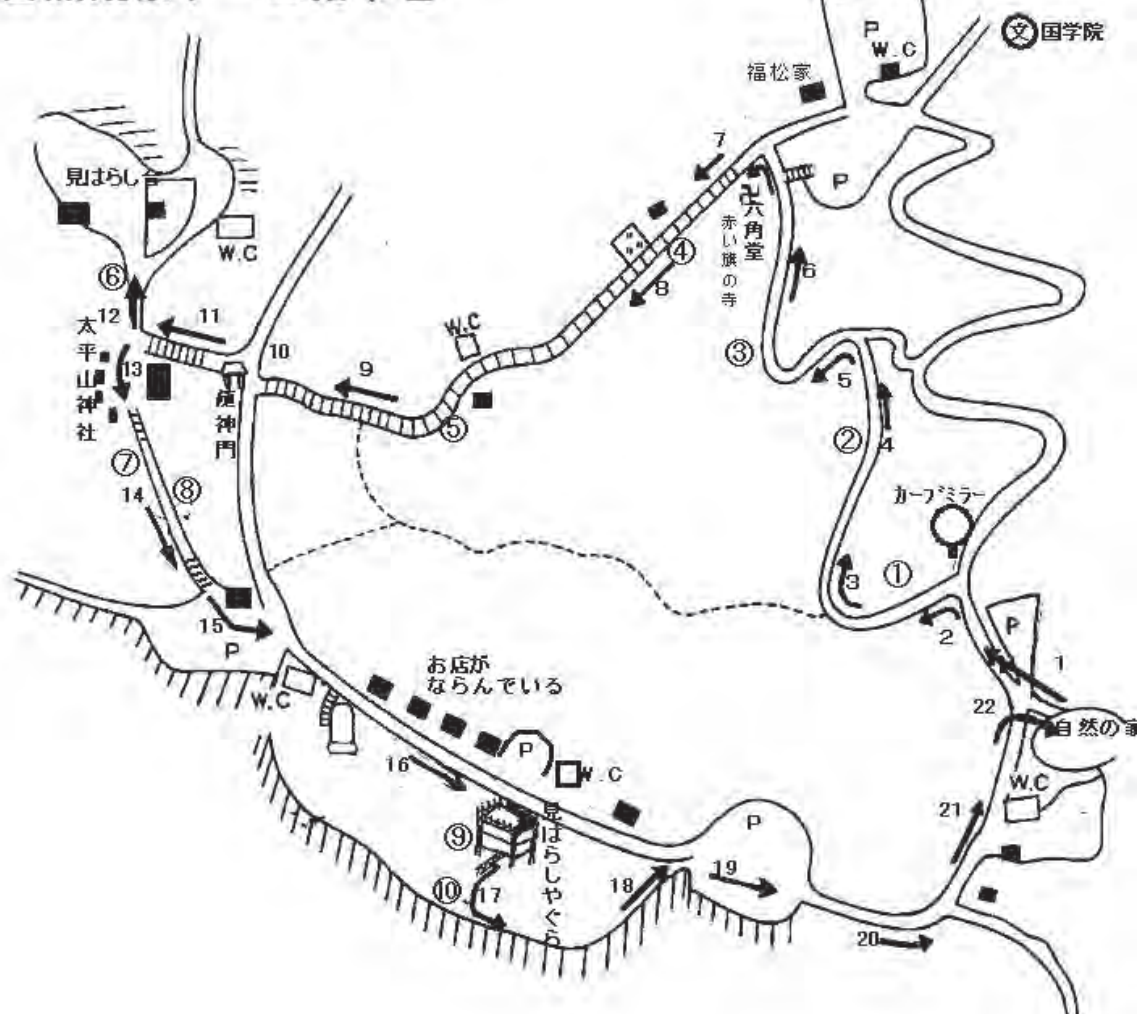
花をよく見ると変
わった形をしてい
るね。

○注意点

- ・五感をフルに生かすようにする。
- ・持ち帰りは、最小限度とし大切に扱うようにする。



自然観察ゲーム指令書



◆共通課題 に 挑戦

コースのとちゅうで、自然の中から「すごい」「きれい」「おもしろい」「ふしぎだ」「へんだ」などと思うものを発見して、カードに絵や言葉でくわしくかきましょう。

◆コース課題 ①～⑧ に 挑戦

下の説明と図の一を見て、歩きましょう。

~~~~~ 歩き方 ~~~~~

- 1 自然の家を出発、車のおとる道をくだる。
- 2 カーブミラーのところを左の山道に入る。

### 課題① (右側の手すり)

- 3 山道をくだる。(階段道をのぼってはだめ)

### 課題② (左側の手すり)

- 4～5 山道をくだる。

### 課題③ (左側の竹やぶ)

- 6～7 道をくだって、六角堂(赤い旗の寺)の石段の道をのぼる。

### 課題④ (電柱)

- 8 石段をのぼる。

### 課題⑤ (階段の左側の大木のところ)

- 9 石段をのぼる。
- 10 止まって、車のおとる道を横断する。
- 11 随神門をくぐって、さらに石段をのぼる。
- 12 太平山神社に着いたら、見はらし台の方へ進む。

### 課題⑥ (がけのところ)

- 13 神社をとおりこして石段をくだる。

### 課題⑦ (電柱) 課題⑧ (左の木)

- 14 坂道をくだる。

- 15～16 お店の前をとる。

### 課題⑨ (見はらしやぐらの一番上)

- 17 やぐらの階段を山の方へおる。

### 課題⑩ (手すりのところ)

- 18～22 自然の家へ

## 自然観察ゲーム課題一覧

全体課題（30点）

|                                                                                               |     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| コースの途中で、よく見たり、さわったり、においをかいだりして、自然の中から、「すごい、きれい、おもしろい、ふしぎ、変だ」などと思うものを発見して、カードに絵や言葉でくわしくかきましょう。 | 30点 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----|

コース課題（70点）

|   |                                                                                                                                                                            |                |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| ① | これは、太平山にたくさん育っている木です。「ヒノキ」といいます。幹をさわってよく観察しましょう。<br>幹の色や皮の特徴は？<br>※ 葉の形をよく覚えていきましょう。後で役に立つよ！                                                                               | 5点             |
| ② | 森の中のようすを、森に入る前（舗装道路を歩いていたとき）と比べましょう。合うほうに○をつけましょう。<br>(1) 明るさは、ここの方が（ 明るい ， うす暗い ）<br>(2) 温度（気温）は、ここの方が（ 温かい ， ひんやりする ）<br>(3) 木々の根元にたくさん生えているのは、（ シダのなかま ， ササのなかま ）       | 5点<br>5点<br>5点 |
| ③ | 足もとに気をつけて！ タケにさわってよく観察しましょう。<br>どんな特徴がありますか？                                                                                                                               | 5点             |
| ④ | 太平山の名物でもある坂の両側にならんで生えている、葉の大きな植物は何でしょう。<br>（ヒント：坂の下から上までずっと生えていますね。6～7月が見ごろで、見物の人がたくさんきます。）                                                                                | 5点             |
| ⑤ | これは太平山神社の御神木（ごしんぼく）です。「スギ」といいます。さわったりして、よく観察しましょう。<br>コース課題①の木の「ヒノキ」と比べて、大きく違うところはどこでしょう。<br>（ 幹の皮のようす ， 葉の形 ， 葉の色 ）                                                       | 5点             |
| ⑥ | 太平山の下に広がっている岩の一部が見えています。「チャート」といいます。栃木県ではいちばん古い地層で、3億年も前に海の中でできたものですが、地球の活動で持ち上げられて山になったそうです。<br>(1) 近づいてさわったり、少し離れて全体を見たりしましょう。<br>(2) どんな色？<br>もようなどの特徴は？                | 5点<br>5点       |
| ⑦ | <u>自然の音</u> （声）を聞いてみましょう。どんな音（声）が聞こえましたか。<br>聞こえた音や声を文字に書いてみましょう。（例、ピッピョロ、ピー）                                                                                              | 5点             |
| ⑧ | 落ちないように気をつけて！<br>木の幹を下から上によく見てみましょう。いくつかの小さな穴が開いていますね。<br>(1) この穴を開けたのは誰？<br>（ 虫のくいあと ， リスのくいあと ， 鳥のつついたあと ）<br>(2) 何のために、開けたの？<br>（ 中の虫を食べる ， 中の水を飲む ， 蜜を吸う ， すみか（巣）にする ） | 5点<br>5点       |
| ⑨ | 遠くの景色や近くの木々をよく見てみましょう。季節が感じられるものを見つけてみましょう。                                                                                                                                | 5点             |
| ⑩ | 山の斜面を見てください。木々の根元にたくさん生えている植物はどちらでしょう。<br>（ シダのなかま ， ササのなかま ）                                                                                                              | 5点             |



## 《とちぎ海浜自然の家のプログラム》

### ビーチコーミングをしよう

時 期 通年

時 間 2～3時間

場 所 玉田海岸（海岸線）

○海辺を歩きながら、漂着物を観察したり収集したりして、海を取り巻く環境について考える。

#### ねらい

- ・海岸での活動を通して、海と自然とのつながりに興味・関心をもつことができるようにする。
- ・漂着物を観察したり収集したりして、海を取り巻く環境について考える力を育てる。

#### 活動の内容

(1) 説明を聞く。

- ・今日の海の状態、この時期の海や浜辺の様子、海の危険、海に入ってはいけない場合、海辺でのマナー、けがに対する諸注意など。

(2) 海岸で活動する。

〈環境学習の視点で〉

- ・人工物が、どこから流れてきたのか、何に使われたものか等を調べ、ワークシート「漂着物を調査しよう」などにまとめる。

〈生物観察の視点で〉

- ・貝殻、貝、海草等を拾い、必要に応じて持ち帰る。

〈造形活動や制作活動の視点で〉

- ・漂着物を拾う。

〈流木、貝殻、浮き、クルミ等〉

- ・制作実験室等で作品を制作する。

(3) 漂着物を一つ選び、そのストーリーをつくる（ワークシート「漂着物のストーリーをつくろう」）。

(4) 使用した道具等を確認し、片付ける。

#### 準備するもの

- ・軍手
- ・運動靴またはスポーツサンダル
- ・集めた物を入れるもの
- ・必要に応じて、模造紙、絵の具、ニス等

自然





## 活用ガイド

### ○指導上の工夫・留意点

- ・活動の目的や実施時期によって展開が変わってくるので、事前の打合せを十分に行っておく。(目的、時間、場所、人数、方法、漂着物など)
- ・地震による津波を警戒し、避難場所や避難経路を確認する。
- ・海岸には那珂川を經由して栃木県から流れてくるものも多い。漁業関係のものもよく落ちている。
- ・生きているものは観察後に逃がすこと、動物の死がいや危険な物には触れないことなどを話す。
- ・海岸植物や海鳥の観察と組み合わせてもよい。

### ○展開例

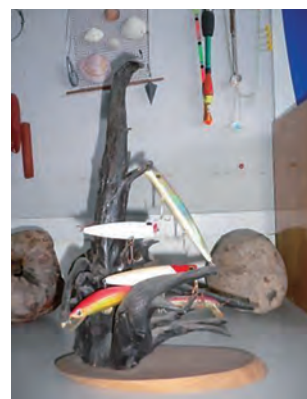
目的によって活動の展開が変わってくる。

例えば、次のような視点で行う活動が考えられる。

- ・落ちているものから、元あった場所、土地柄、国などを推理するといった、環境学習の視点で行う活動
- ・貝殻や海藻など、海の生物を調べるといった、生物観察の視点で行う活動
- ・浜辺にあるものを見つけたり、思い出として持ち帰ったりする活動
- ・流木や貝殻などを拾い、それらを材料にして行う造形活動や製作活動（漂流アート、オブジェ）



### ○作品例



### ○とちぎ海浜自然の家の近くに打ち上げられる漂着物

**動物** 貝殻 …タマキガイ、サトウガイ、ハマグリ、ウバガイ、ホッキガイ、ムラサキイガイなどが  
が多い。二枚貝が多く、巻き貝は少ない。

魚など…大変少ないが、生きているフグやイワシなどが打ち上げられることがある。

ウミガメやサメの死がい、まれに打ち上げられることもある。

カニのハサミや甲羅、フジツボ、イカの甲など。

鳥 …ミズナギドリという水鳥など、渡り鳥の死がいが多いが多数打ち  
上げられることがある。

**植物** 流 木…台風や海の荒れた後に多く打ち上げられる。竹も多い。

海藻類…春に多い。「海藻押し葉アート」としても使える。

クルミ…川から流れてきたものが打ち上げられる。

**岩石** 石 …軽石が多い。化石が見つかることもある。

**人工物** ルアー…金属やプラスチックでできた小魚に似せた疑似餌。

魚釣り用のうき・おもり…派手なもの、魚やたこに似せたものなど。

船の落とした電球、ブイ

その他…びん・缶・ペットボトル・発泡

スチロールなどが多い。

栃木県から流れてきたものも多い。

### ○活動にあたって参考となる資料

- ・とちぎ海浜自然の家「利用のご案内」



# 漂着物を調査しよう

|     |           |       |     |  |
|-----|-----------|-------|-----|--|
| 実施日 | 年 月 日 ( ) | 年 組 番 | 氏 名 |  |
|-----|-----------|-------|-----|--|

自然



○流れ着いた物を調べてみましょう。

|         | 見つけた物 | どんなものか              | どこからきたか           | 何からできているか |
|---------|-------|---------------------|-------------------|-----------|
| 多かったもの  |       | 自然物<br>人工物<br>わからない | 日本<br>外国<br>わからない |           |
| 気になったもの |       | 自然物<br>人工物<br>わからない | 日本<br>外国<br>わからない |           |
| おどろいたもの |       | 自然物<br>人工物<br>わからない | 日本<br>外国<br>わからない |           |
| その他     |       |                     |                   |           |

# 漂着物のストーリーを作ろう



自然

|     |           |       |     |  |
|-----|-----------|-------|-----|--|
| 実施日 | 年 月 日 ( ) | 年 組 番 | 氏 名 |  |
|-----|-----------|-------|-----|--|

○漂着物の中から，物語になりそうなものを一つ選びましょう。

選んだもの \_\_\_\_\_

○その漂着物は，いつ，どのような人が，どこで，どのように捨てたか推理しましょう。

(いつ)

(どのような人が)

(どこで)

(どのように)

○自分がその漂着物になったつもりで，流れ着くまでのあらすじを考えよう。

|     |  |
|-----|--|
| はじめ |  |
| 中   |  |
| おわり |  |



## 《なす高原自然の家のプログラム》

### スノーシューハイキング

時 期 冬

時 間 1～2時間

場 所 自然の家周辺

○スノーシューを装着して、自然の家周辺をハイキングしながら自然に親しむとともに、植物や動物の足跡などを観察する。

#### ねらい

- ・厳しい環境の中でも、動植物は生きているということを知る。
- ・身近な自然に積極的に触れようとする態度を育てる。
- ・自然の美しさに対する豊かな感性を育てる。

#### 活動の内容

- (1) スノーシューを装着し準備運動をする。
  - ・歩いている途中、外れないようにしっかり付ける。
  - ・十分に準備運動をする。
- (2) 雪に親しむ。
  - ・歩く、鬼ごっこ、足跡や人型を雪上に残す。
  - ・雪の浮遊感を感じながら歩く。
  - ・いろいろなポーズをとって、そのまま雪の上に倒れる。  
※指導者が手本を示す。
- (3) 動物の足跡を探す。
  - ・ウサギ、キツネ、タヌキ、テン等の足跡を探す。
  - ・足跡を見つけたら、何の動物の足跡なのかプリントで調べる。
  - ・デジタルカメラで撮影をしておくのもよい。
- (4) 雪の結晶や植物の観察をする。
  - ・木の枝に新しい芽があることを確認する。

#### 準備するもの

- ・スノーシュー
- ・防寒着
- ・動物の足跡が印刷されたプリント
- ・デジタルカメラ
- ・虫眼鏡と黒い画用紙

自  
然



## 活用ガイド

### ○活動の様子



雪の下にも春があるかも。  
(雪を掘って地面のようすを観察)



雪の結晶も観察できる。

雪の結晶って、  
こんな形をして  
いるんだ。

### ○遊び方

#### ・雪に親しむ

コースから外れてもいいので、できるだけ自由に雪の上を歩く。新雪の上を歩くと浮遊感を感じることができる。

鬼ごっこは、スノーシューを着けたまま実施するので、普段雪のない校庭などとの違いを感じながら楽しむことができる。

足跡や人型は、まだ誰も歩いていない新雪で実施する。倒れるときは、まわりに大きな石や木の枝がないことを確かめてから、勢いよく倒れる。



### ○ワンポイントアドバイス

スノーシューという活動自体が貴重な体験であるが、さらに雪に親しむ活動を加えることで広がりをもたせることができる。

普段なかなか目にすることのない動物の足跡などは、興味をもって観察することができ、冬でも冬眠せずに活動している動物がいることを実感できる。

なお、実施にあたっては、防寒対策を十分にしておいて活動に臨ませる。

### ○活動にあたって参考となる文献

- ・今泉 忠明 「アニマルトラック&バードトラックハンドブックー野山で見つけよう動物の足跡ー」  
自由国民社（2006）